



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社秋田銀行

コード番号 8343 URL <https://www.akita-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 芦田 晃輔

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画部長 (氏名) 林口 哲也

TEL 018-863-1212

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,072	24.8	3,071	30.0	2,388	41.5
2025年3月期第1四半期	12,870	12.0	2,361	195.8	1,687	182.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 11,343百万円 (ー%) 2025年3月期第1四半期 △1,621百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	134.83	ー
2025年3月期第1四半期	95.65	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,567,010	167,402	4.6
2025年3月期	3,460,341	157,094	4.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 166,663百万円 2025年3月期 156,357百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	45.00	ー	60.00	105.00
2026年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2026年3月期(予想)	ー	75.00	ー	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	37.1	3,400	76.8	191.96
通期	9,800	7.4	6,500	14.8	366.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	18,093,643株	2025年3月期	18,093,643株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	359,392株	2025年3月期	382,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	17,717,522株	2025年3月期1Q	17,642,201株

(注) 期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数（2026年3月期1Q100,500株、2025年3月期110,078株）及びESOP信託が保有する当行株式数（2026年3月期1Q111,200株、2025年3月期124,900株）を含めております。

また、期中平均株式数を算定するにあたり、BIP信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2026年3月期1Q108,604株、2025年3月期1Q111,623株）及びESOP信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2026年3月期1Q119,958株、2025年3月期1Q194,464株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 7
(参考) 2026年3月期 第1四半期決算の状況(四半期決算補足説明資料)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、資金運用収益の増加と株式等売却益の増加により、前年同期比32億2百万円増加し160億72百万円となりました。経常費用は、資金調達費用の増加と国債等債券売却損の増加により、24億93百万円増加し130億1百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比7億10百万円増加し30億71百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億1百万円増加し23億88百万円となりました。

セグメント別の業績については、銀行業務は、経常収益が前年同期比28億95百万円増加の149億72百万円、経常利益は4億51百万円増加の33億69百万円となりました。

リース業務は、経常収益が前年同期比47百万円増加の13億52百万円、経常利益は9百万円増加の44百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総預金（譲渡性預金を含む。）

個人、法人および公金預金の増加により、前連結会計年度末比747億円増加し、3兆2,634億円となりました。

貸出金

事業先向け貸出は減少したものの、地公体向け貸出が増加したことにより、前連結会計年度末比158億円増加し、2兆731億円となりました。

有価証券

前連結会計年度末比151億円減少し、8,562億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2025年5月12日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	466,752	555,827
コールローン及び買入手形	5,000	9,241
買入金銭債権	6,483	6,628
金銭の信託	—	2,003
有価証券	871,384	856,235
貸出金	2,057,353	2,073,173
外国為替	2,088	1,796
その他資産	24,828	35,500
有形固定資産	17,865	17,755
無形固定資産	810	816
退職給付に係る資産	14,944	15,082
繰延税金資産	488	305
支払承諾見返	8,572	8,268
貸倒引当金	△16,229	△15,625
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	3,460,341	3,567,010
負債の部		
預金	3,129,579	3,186,952
譲渡性預金	59,128	76,521
コールマネー及び売渡手形	259	5,496
借入金	87,129	85,319
外国為替	75	130
その他負債	14,272	32,518
役員賞与引当金	20	—
退職給付に係る負債	928	963
役員退職慰労引当金	23	24
株式給付引当金	149	155
睡眠預金払戻損失引当金	174	163
偶発損失引当金	826	662
繰延税金負債	591	915
再評価に係る繰延税金負債	1,515	1,515
支払承諾	8,572	8,268
負債の部合計	3,303,246	3,399,607
純資産の部		
資本金	14,100	14,100
資本剰余金	9,212	9,212
利益剰余金	136,197	137,510
自己株式	△940	△897
株主資本合計	158,570	159,925
その他有価証券評価差額金	△12,462	△3,632
繰延ヘッジ損益	936	1,195
土地再評価差額金	2,854	2,854
退職給付に係る調整累計額	6,458	6,320
その他の包括利益累計額合計	△2,213	6,738
非支配株主持分	737	738
純資産の部合計	157,094	167,402
負債及び純資産の部合計	3,460,341	3,567,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	12,870	16,072
資金運用収益	6,973	9,043
(うち貸出金利息)	4,393	5,760
(うち有価証券利息配当金)	2,069	2,505
役務取引等収益	1,869	1,734
その他業務収益	1,871	1,385
その他経常収益	2,155	3,908
経常費用	10,508	13,001
資金調達費用	425	1,433
(うち預金利息)	130	1,238
役務取引等費用	273	503
その他業務費用	3,932	4,901
営業経費	5,541	5,551
その他経常費用	335	609
経常利益	2,361	3,071
特別利益	0	0
固定資産処分益	0	0
特別損失	51	2
固定資産処分損	51	2
税金等調整前四半期純利益	2,310	3,069
法人税、住民税及び事業税	308	216
法人税等調整額	310	459
法人税等合計	618	676
四半期純利益	1,691	2,393
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,687	2,388

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,691	2,393
その他の包括利益	△3,312	8,950
その他有価証券評価差額金	△3,194	8,829
繰延ヘッジ損益	—	259
退職給付に係る調整額	△117	△138
四半期包括利益	△1,621	11,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,624	11,339
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	11,403	1,261	12,665	208	12,874	△3	12,870
セグメント間の 内部経常収益	673	44	717	114	831	△831	—
計	12,077	1,305	13,383	322	13,705	△835	12,870
セグメント利益	2,918	35	2,953	89	3,042	△681	2,361

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務、地域商社業務、ファンドの組成・運営業務、保証業務及びクレジットカード業務等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△681百万円は、セグメント間取引消去による減額681百万円であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	14,575	1,299	15,874	213	16,087	△15	16,072
セグメント間の 内部経常収益	397	53	451	106	557	△557	—
計	14,972	1,352	16,325	319	16,645	△572	16,072
セグメント利益	3,369	44	3,414	68	3,483	△411	3,071

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング業務、地域商社業務、ファンドの組成・運営業務、保証業務及びクレジットカード業務等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△411百万円は、セグメント間取引消去による減額411百万円であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	311百万円	293百万円

(参考)2026年3月期 第1四半期決算の状況

1. 損益の状況(単体)

(単位：百万円)

2026年3月期
第2四半期予想値
(6か月累計)

		当第1四半期(A) (2026年3月期)	前第1四半期(B) (2025年3月期)	比較 (A)-(B)
経常収益	1	14,972	12,077	2,895
業務粗利益	2	5,381	6,423	1,042
コア業務粗利益(-)	3	8,991	8,564	427
資金利益	4	7,994	7,206	788
役務取引等利益	5	976	1,343	367
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	6	3,589	2,126	1,463
	7	3,610	2,140	1,470
経費(除く臨時処理分)	8	5,328	5,330	2
人件費	9	2,755	2,817	62
物件費	10	2,098	2,020	78
税金	11	475	491	16
コア業務純益(-)	12	3,663	3,234	429
コア業務純益(除く投信解約損益)	13	3,663	3,134	529
実質業務純益	14	52	1,093	1,041
一般貸倒引当金繰入額	15	88	128	40
業務純益	16	140	1,221	1,081
臨時損益	17	3,228	1,696	1,532
不良債権処理額	18	508	153	661
うち個別貸倒引当金繰入額	19	513	125	638
株式等関係損益	20	2,464	1,665	799
その他臨時損益	21	256	183	73
経常利益	22	3,369	2,918	451
特別損益	23	2	51	49
うち固定資産処分損益	24	2	51	49
うち減損損失	25	-	-	-
税引前四半期純利益	26	3,367	2,866	501
法人税、住民税及び事業税	27	175	278	103
法人税等調整額	28	472	306	166
法人税等合計	29	648	584	64
四半期(中間)純利益	30	2,718	2,282	436
与信関係費用(+)	31	596	25	621

5,400

3,700

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

コア業務純益は、前年同期比 429 百万円増加し 3,663 百万円となりました。(増加率 13.2%)

貸出金利息、有価証券利息の増加が、預金・譲渡性預金支払利息の増加を上回り、資金利益が増加したことが主因です。

貸出金利息	5,774 百万円	前年同期比	+ 1,376 百万円
有価証券利息	2,871 百万円	前年同期比	+ 152 百万円
預金・譲渡性預金支払利息	1,284 百万円	前年同期比	+ 1,148 百万円

経常利益は、451 百万円増加し 3,369 百万円となりました。(増加率 15.4%)

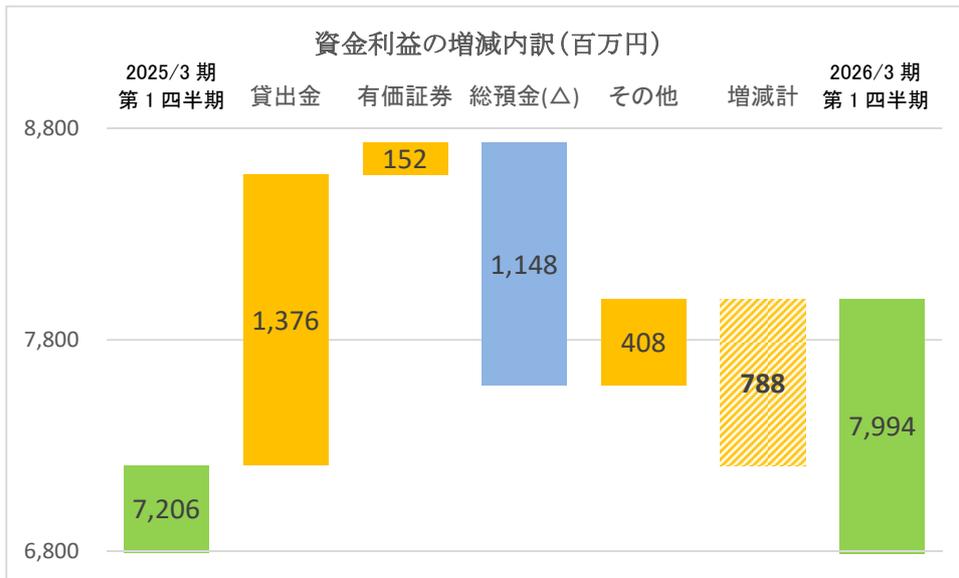
国債等債券損益は悪化しましたが、株式等関係損益は好転し与信関係費用は減少したことが要因です。

四半期純利益は、436 百万円増加し 2,718 百万円となりました。(増加率 19.1%)

資金利益

貸出金、有価証券ともに平均残高の増加と利回り上昇により、利息収入はそれぞれ 1,376 百万円、152 百万円の増加となりました。

- 一方で支払預金利息も 1,148 百万円増加しましたが、資金利益合計では前年同期比 788 百万円増加して 7,994 百万円となりました。(増加率 10.9%)



平均残高 (単位：億円)

	2026/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増減
貸出金	20,605	19,828	777
有価証券	8,626	8,458	168
総預金	32,060	32,118	58

利回り (単位：%)

	2026/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	増減
貸出金	1.12	0.88	0.24
有価証券	1.33	1.28	0.05
総預金	0.16	0.01	0.15

2. 総預金残高(譲渡性預金を含む)(単体)

預金は、個人預金は増加したものの法人預金の減少により、前年同月末(2024年6月末)比 171 億円減少し 3兆 2,701 億円となりました。(増加率 0.5%)

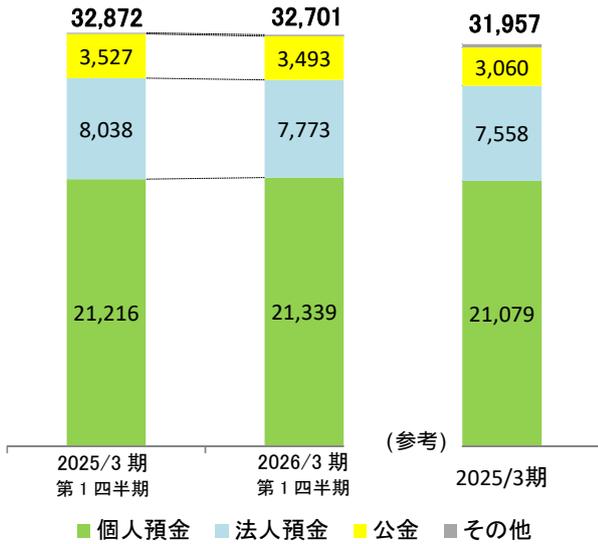
- 平均残高も、個人預金は増加したものの法人預金および公金預金の減少により、前年同期比 58 億円減少し 3兆 2,060 億円となりました。(増加率 0.1%)

(単位：億円)

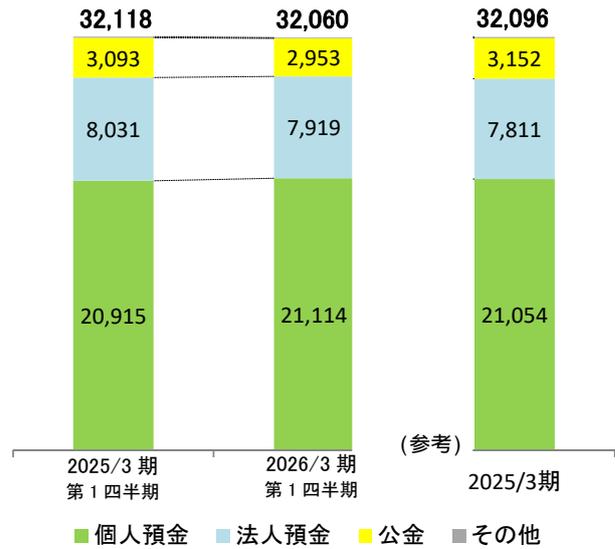
	2026/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期比	2025/3期比	2025/3期 第1四半期	2025/3期
総預金末残	32,701	171	744	32,872	31,957
総預金平残	32,060	58	36	32,118	32,096

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

総預金末残の推移 (億円)



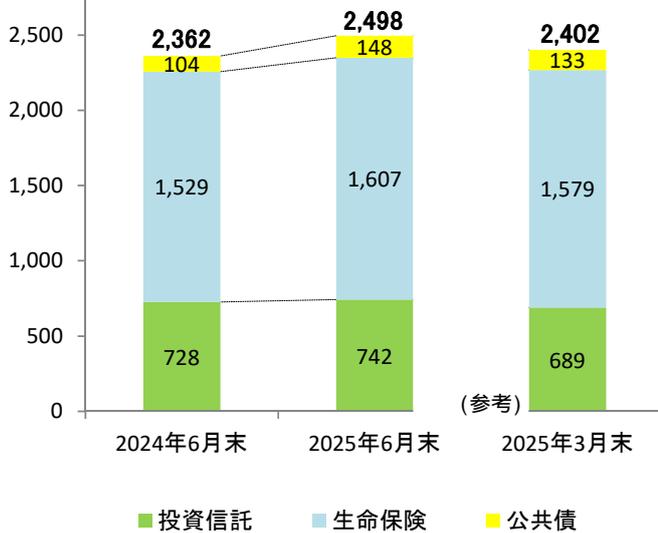
総預金平残の推移 (億円)



3. 預り資産 (単体)

預り資産の残高は、前年同月末比 (2024年6月末) 比 136 億円増加し 2,498 億円となりました。(増加率 5.7%)

預り資産の推移 (億円)



(単位: 億円)

	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比	2024年6月末	2025年3月末
公 共 債	148	44	15	104	133
投 資 信 託	742	14	53	728	689
生 命 保 険	1,607	78	28	1,529	1,579
合 計	2,498	136	96	2,362	2,402

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

4. 貸出金残高(単体)

貸出金は、個人ローンおよび事業先向け貸出の増加により、前年同月末(2024年6月末)比1,006億円増加し2兆798億円となりました。(増加率5.0%)

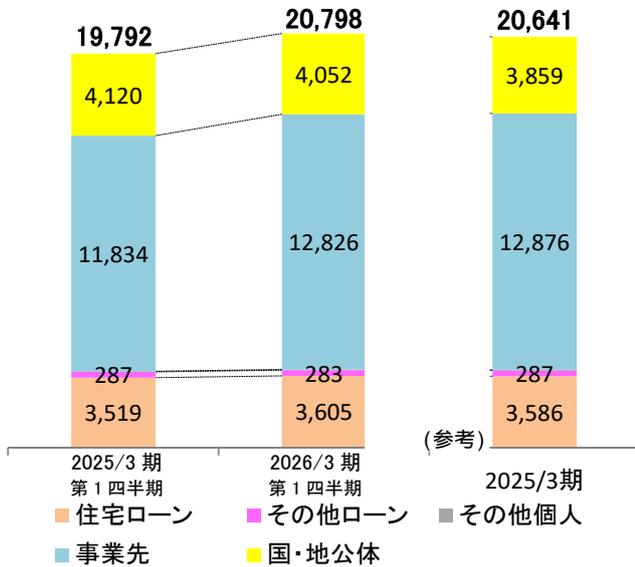
- 平均残高も、個人ローンおよび事業先向け貸出の増加により、前年同期比777億円増加し2兆605億円となりました。(増加率3.9%)

(単位:億円)

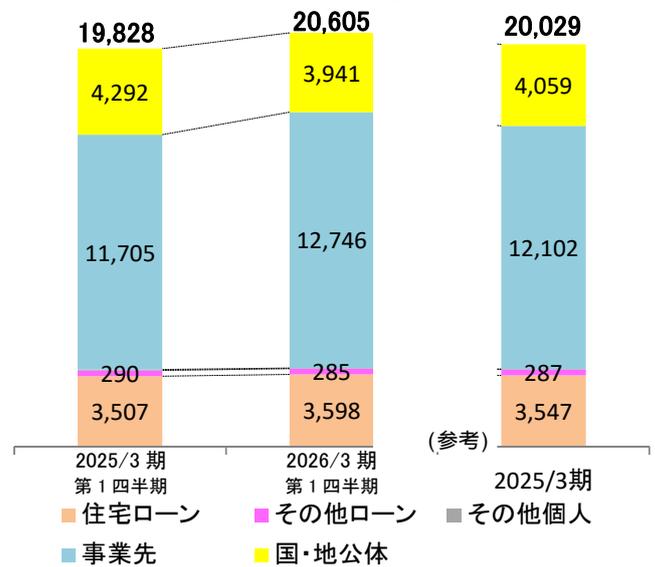
	2026/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期比	2025/3期比	2025/3期 第1四半期	2025/3期
	貸出金末残	20,798	1,006	157	19,792
貸出金平残	20,605	777	576	19,828	20,029

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

貸出金末残の推移(億円)



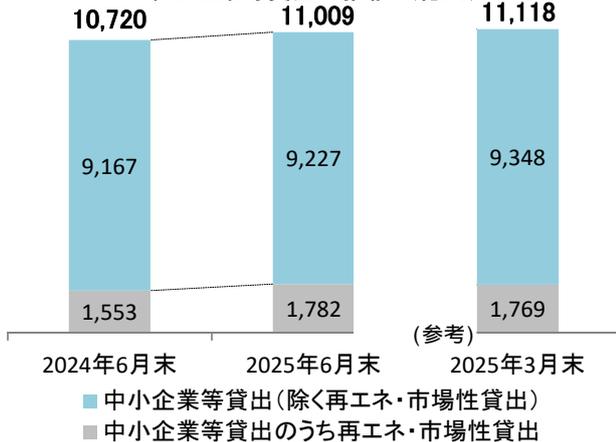
貸出金平残の推移(億円)



中小企業等貸出は、前年同月末比289億円増加し1兆1,009億円となりました。(増加率2.6%)

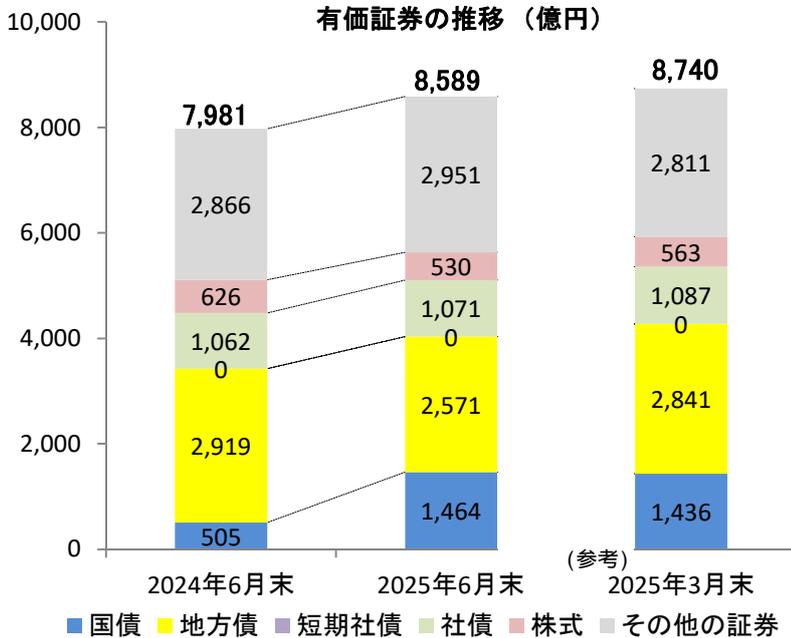
このうち、再生可能エネルギー関連貸出や市場性貸出を除く中小企業等貸出については、前年同月末比60億円増加し9,227億円となりました。

中小企業等貸出の推移(億円)



5. 有価証券残高(単体)

国債の運用残高が増加したことにより、有価証券は前年同月末(2024年6月末)比608億円増加し8,589億円となりました。(増加率7.6%)
 前期末(2025年3月末)比では151億円の減少となりました。(増加率1.7%)

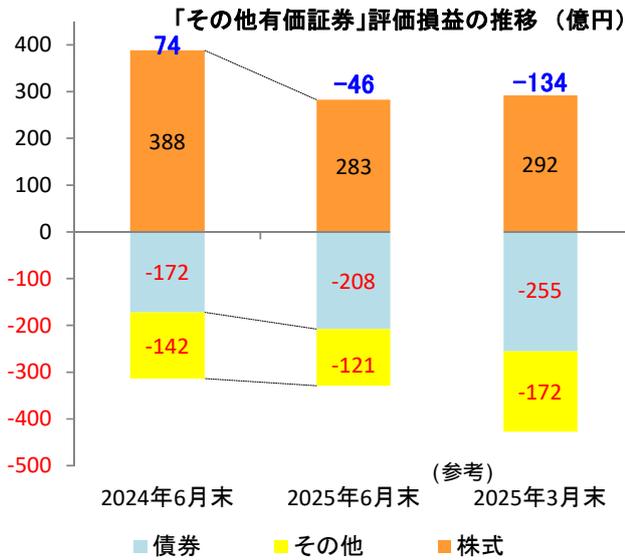


(単位: 億円)

	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比	2024年6月末	2025年3月末
国債	1,464	959	28	505	1,436
地方債	2,571	348	270	2,919	2,841
短期社債	-	-	-	-	-
社債	1,071	9	16	1,062	1,087
株式	530	96	33	626	563
その他の証券	2,951	85	140	2,866	2,811
合計	8,589	608	151	7,981	8,740

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

その他有価証券の評価差額は、その他の評価は好転したものの、株式と債券が悪化したことから、前年同月末(2024年6月末)比120億円悪化し46億円の評価損となりました。
 前期末(2025年3月末)比では、債券およびその他の好転により88億円の好転となりました。



(単位：億円)

	2025年6月末					2024年6月末			2025年3月末		
	評価差額	2024年6月末比		うち益	うち損	評価差額	うち益	うち損	評価差額	うち益	うち損
		2024年6月末比	2025年3月末比								
その他有価証券	46	120	88	322	368	74	418	344	134	315	450
株式	283	105	9	286	2	388	389	1	292	298	5
債券	208	36	47	2	210	172	0	173	255	0	255
その他	121	21	51	33	155	142	27	170	172	17	189

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

有価証券関係損益は、国債等債券売却損の増加が株式等売却益の増加を上回ったことから、前年同期比7億円減少し11億円となりました。

(単位：億円)

	2026/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期	2025/3期 第1四半期比	2025/3期
国債等債券損益	36	21	15	67
売却益	0	5	5	10
売却損()	28	16	12	60
償還損()	8	10	2	17
株式等関係損益	24	16	8	71
売却益	28	17	11	74
売却損()	4	0	4	2
償却()	0	0	0	0
有価証券関係損益	11	4	7	4

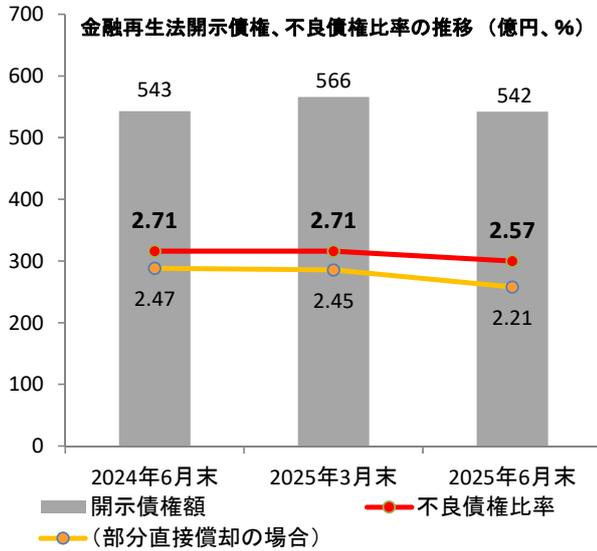
(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

6. 金融再生法開示債権(単体)

金融再生法開示債権は前年同月末(2024年6月末)比1億円減少したことから、不良債権比率は0.14ポイント低下して2.57%になりました。

部分直接償却を実施した場合の不良債権比率は2.21%になりました。

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。



(単位：億円)

	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比	2024年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100	31	23	69	77
危険債権	417	25	43	442	460
要管理債権	25	7	4	32	29
合計(A)	542	1	24	543	566
対象債権(B)	21,019	1,004	161	20,015	20,858
不良債権比率(A)/(B)	2.57%	0.14%	0.14%	2.71%	2.71%

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の債権額残高は次のとおりであります。

(単位：億円)

	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比	2024年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	22	1	0	21	22
危険債権	417	25	43	442	460
要管理債権	25	7	4	32	29
合計(A)	464	31	46	495	510
対象債権(B)	20,941	974	139	19,967	20,802
不良債権比率(A)/(B)	2.21%	0.26%	0.24%	2.47%	2.45%

7. 自己資本比率（国内基準）

2025年6月末の自己資本比率（国内基準）については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

（以上）